



書新聞 第2号

図書委員会

みなさんこんにちわ！梅雨に出ようと思っていたのに明けちゃいました(笑)今回は2年生が担当してくれました。テーマは「雨」です。ぜひ雨の日に読んでみてください！



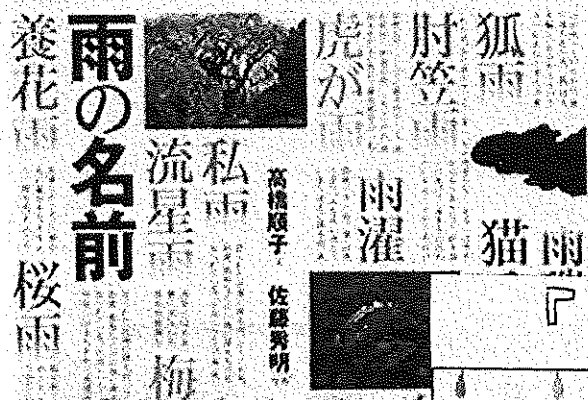
実はコレ江戸時代作品なんですよ。
戦国世、貧しい医工、源十郎が若狭姫という
白蛇と知り合い生活をしてるようになった。
だが、美しい若狭姫の正体は死霊であつた。
それを知らなかった源十郎は若狭姫を捨てて
逃げた。だが、彼の心は執念は断ち切れず...
江戸時代流行がせきなんはぜひ見てください！

雨月物語



ルウ子とその妹のサチかひみつの呪文をとなえながら「雨ふる本屋」。店主のフルホン氏、その身代りの舞と子と人か。そんな「雨ふる本屋」に本になんかをつけては本屋をつぶしてまわるといふストーリー・エンタツクが来るという！はたして「雨ふる本屋」はどうなってしまうのか？

雨ふる本屋の雨ふらし



『雨の名前』文・高橋順子

とっせんですが「万物生」という「雨」の名前はどんな雨でしょう？これは生きている物に生命力を与えるといわれる春の雨のことをいいます。このように雨の名前にはいろいろなのがあります。それは「貸おどし」はどんな雨でしょう。
答えが気になる人はぜひ本をよんでください。

